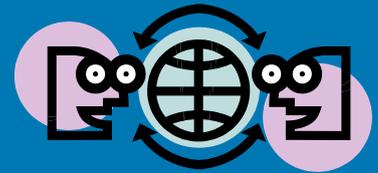




桐



大東文化学園教職員組合連合機関紙
2019年12月10日発行 第1137号

大東文化学園教職員組合連合

〒175-8571 板橋区高島平1-9-1

tel/fax. 03-3935-9505

この号の内容

事務折衝報告
大学組合新執行部紹介
高校組合総会報告



Facebook
大東文化学園
教職員組合連合

組合ホームページ

<http://www.boreas.dti.ne.jp/daito-un/>

大東スクラムに関する事務折衝の報告

2019年10月1日に大東文化学園が100%（2000万円）出資する形で設立された事業会社「大東スクラム」について、組合は、特に教員や組合に詳細な説明がないままに設立が進められた経緯や今後の展望について説明を求め、11月21日（木）17:30より板橋校舎2号館206号室にて18:50まで事務折衝を行いました。学園側は、梅沢事務局長、高橋学務局長、大熊総務部長、佐藤人事課長ほか総務課小笹主査と総合企画課中野課員の6名、組合側は牧山副委員長、山中執行委員、関井代議員、木谷書記局員、大杉（委員長代行）の5名が出席しました。

まず梅沢事務局長から、8月の事務職員総会で配布された「事業会社設立について」に基づき、説明が行われました。2年位前から会社設立の検討を始めており、その理由としては学園財政の悪化、外部資金獲得の重要性の高まり、事務職員のマンパワー不足に対応することが挙げられました。また業務委託についても現状は各部署が各会社にバラバラに委託しているのに対して、設立後は事業会社が可能な限り請負い、収益の一部を学園に寄付で還元することを考えている旨が述べられ、業務整理と効率化、人件費抑制だけでなく、働き方改革や業務のノウハウを流出させない目的もあるとのことでした。

こうした説明に対して、組合側は株式会社大東スクラムの第1期事業計画に書かれた業務内容から、学生の教育に関わる根幹の業務までもが大東スクラムに任されて、職員の非正規化につながるのではないかという懸念を学園側に伝えました。これについて学園側は、逆に正規職員には教員と連携して一層教育の根幹に関わる仕事に従事して貰うために、郵便の仕分け等、単純作業を中心に大東スクラムに請負させることを考えており、しかもまだどの仕事を下請けに出すことが可能なのか、洗い出しの段階であるとのことでした。また明治大学や青山学院大学の下請会社のように、他大学の業務に進出することは考えておらず、あくまでも大東文化学園内の業務に限定するとの話でした。

その他に業務的に生協とも重なる部分があるため、生協との関係をどうするかについて問いかけたところ、既に生協の職員等には説明済みで、業務を棲み分けることで合意は取れているということでした。

なお、組合に事前に詳細な説明がなかったことについては、学園から大東スクラムに出向者を出す関係で、学校法人大東文化学園専任事務職員の出向に関する規程案を作成しており、過半数代表者に示す際に、組合にも連絡する予定であったとの説明がありました。いずれにせよ、実際に教務部門に配置する場合も業務委託であり、職員の指示に依らない定型業務に限定されるため、想定される業務は限定される見通しで、2020年度中の切りのいい時期の配置を目指して分析を続けているとのことでした。

しかし組合としては、設立の趣旨がそうであったとしても、長期的には将来的に他大学でも見られたような正規職員のリストラの手段にならないことを誰も約束はできないであろうことや指示系統が混乱するのではないかとといった問題、監査役が学務局長1人ではなく複数必要になるのではないかとという点を伝え、学生へのサービスと労働条件の向上を両立させる道を探るように求めました。また、直接説明を聞ける組合員以外にも決定以前に進捗や見通しを知ることができる機会を設けてほしい旨を要望しました。

またこの他に、アルバイト・契約職員の契約期間について、通算して36ヵ月に達した後も、希望すれば可能な限り契約期間を延長することができること就業規則の改定がされたものの、部署によって説明が異なり、職員たちに不安を抱かせている現状がありましたので、規則の周知徹底と説明方法の改善も求めました。

以上のように、引き続き、組合は教職員の労働条件改善に努めていきますので、ご支援のほどをよろしくお願い申し上げます。

（文責：大杉由香）

大学組合新執行部信任

12月9日に大学組合新役員信任投票の開票が行われ、下記の候補者全員が組合員過半数の信任を得て、新執行部と会計監査が決まりました。

12月中旬の連合代議員総会にて、第一高校組合役員との連合執行部信任投票を行い、2020年度の連合執行部が成立いたします。

皆様のご支援とご協力の程、よろしくお願いいたします。

役職	氏名	所属
委員長	大杉由香	スポ健・スポーツ
副委員長	牧山悟郎	社会学部事務室
書記長	小池剛史	文・英米文
書記次長	山中吾郎	文・教育
執行委員	白井春人	外・英語
執行委員	松田洋介	文・教育
会計監査	水谷正大	経営・経営
会計監査	堀川信一	法・法律

よろしくお願いいたします。

一高組合定例総会報告

12月2日(月)16:45～、一高校舎理科室1において、2019年度大東文化大学第一高校教職員組合総会が行われました。出席者17名、委任状11通で成立要件を充たしたことが確認され、石井先生を議長として、第1号議案：今年度総括、第2号議案：2018/2019年会計監査報告、第3号議案：2019/2020年予算案が審議・承認され、2020年度執行部選挙が行われました。

総括では、今まで慣行で行ってきた勤務時間や研修日のあり方、主任・部長の互選制の見直しなどが行われる中で、組合は校長と5月と7月に協議を行った事が報告されました。労働時間の算出や時間外手当の試算なども提示し、勤務時間について多くの仕事量を抱えていることへの理解を得ることができました。勤務形態については、今後組合員の意見を管理職に伝え、職場の意見を踏まえた就業規則制定を目指していきます。新校長の指導内容に関しては、組合として今後も観察を怠らず、良好な職場環境に向けて尽力していきたいと思っておりますので、ご相談・ご意見を執行部までお寄せください。

組合行事では、教員間のコミュニケーションの充実を目指して企画した新人歓迎会には多くの先生方に参加していただき、そのかいもあって今年度も新人の先生全員が組合に加入されました。

最後に今後の課題として、人事課からも投げかけられている部活動顧問の長時間労働の解消に向けて組合で話し合いを持ち、管理職と協議していくべきことや、労働者の労働環境の充実と生徒へのサービスの充実という両立が難しい問題に対し、団結して取り組んでいかなければならないことを確認しました。

その他、2019年度より始まった文化鑑賞費補助制度について詳細の説明と今後の利用促進について提案があり、組合員への周知を図りました。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

組合事務室にもお気軽にお立ち寄りください！組合事務室は板橋校舎1号館地下1階です。

12月2週～2020年1月の組合事務室開室日は下記の通りです。

何かとご不便をおかけ致しますが、どうぞよろしくお願い致します。

開室日：12月9日(月)・10日(火)・11日(水) ←9:30～11:30(午後は東松山校舎)
 16日(月)・17日(火)・18日(水)・23日(月)・24日(火)
 1月7日(火)・8日(水) ←9:30～11:30(午後は東松山校舎)・15日(水)
 20日(月)・21日(火)・22日(水)・28日(火)・29日(水)

開室時間：9:30～17:30(昼休み11:30～12:30)

会議等により変更になることがあります。組合事務室開室日は組合ホームページにも掲載しています。

本紙は大学組合webサイト<http://www.boreas.dti.ne.jp/daito-un/>にも掲載しています。

本紙へのご投稿、ご意見、ご質問は daito-un@boreas.dti.ne.jp にお寄せください。